

2 楽しく体を動かそう

*健康な心と体 *道徳性・規範意識の芽生え
*言葉による伝え合い *協同性

<しっぽとりで遊ぼう> 5歳 Ⅱ期

ねらい ◎「しっぽを取る」ために思いっきり走り、取れた喜びを味わう
○みんなで楽しめるルールを相談して遊ぶ

○1 対1相手の動きをしっかりと見て動く



★十分な数のしっぽを幼児たちの手が届く所に置き、いつでも遊びが始められるようにする。

○友だちと数人で誘い合って遊びを始める。

①すぐに終わってしまう。「つまらない」「誰か一緒にしよう」

②しっぽとりを楽しんでいる様子を見て、友だちが集まってくる。

▲①少人数なので追いかける相手がわかりやすい。

▲②人数が増えることで、遊びの時間が長く持続するおもしろさが増える。

△①幼児の気持ちを読み取り声をかけ、思いを聞き出す。

○友だちのいろいろな動きを意識しながら動く



気付く・できるようになる

○遊びの中でルールを話し合う。

試す・工夫する



チームをつくろう

ずっと走っているのはしんどいね
ここから先にはいゆかないとか、逃げる
ところは、線の中でしょう

○遊びの空間を設定する中で、ルールを決めて
チームで遊ぶ



粘り強く取り組む・挑戦する

▲話し合いの中でリードを取る幼児・友だちの意見を聞こうとする
幼児・思いを出せない幼児がいる。

△様子を見守りながら意見を出せない幼児がいれば思いをひき
だせるようにかかわる。

▲チームがわかりやすいように帽子の色を変えている。

▲競争心が芽生え、チームで協力して遊び方を工夫している。

遊びの中の豊かな学び

- ・友だちを助けたり守ってあげたりしたことなど、頼られる経験で自尊感情が高まっていく
- ・遊びのルールを話し合う中で、友だちの様々な考えを聞き、どの意見を取り入れるか考えたり、新たな意見を考えたりする
- ・チームの人数を数えたり、遊ぶ範囲（空間）を決めたりすることで数や空間への関心が高まる
- ・話し合いを通して友だちと心を通わせ、言葉やいろいろな手法で思いを伝え合う
- ・しっぽ取りを通して、友だちの思いや考えを知り、工夫したり協力したりして遊ぶ充実感を味わう

評価の観点

- ・幼児はしっぽを取ったり取られたりする中で走る楽しさを味わうことができているか
- ・楽しさを味わったり探求したりする十分な時間や場所を確保できているか
- ・幼児の気付き・発見が広がるような話し合いができているか
- ・ルールをつくって遊んだことで楽しさが増えているか